

2014年3月期 第1四半期決算

説明資料

株式会社 **トクヤマ**

2013年7月31日



CONTENTS

- 1 2014年3月期 第1四半期決算
- 2 2014年3月期 業績予想
- 3 トピックス
- 4 補足資料

1 2014年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要
2. セグメント別売上高／営業利益
3. 営業利益の増減



① 2014年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要

連 結 (前年同期比)

(億円未満切捨て)
(億円)

	2013年 3月期 第1四半期	2014年 3月期 第1四半期	増 減	
			金額	%
売上高	638	643	+4	+1
営業利益	7	31	+23	+330
経常損益	△11	25	+36	-
四半期純損益	△17	20	+38	-

定性情報(前年同期比)

(売上高) 643億円(1%増)

増収要因 : プラントトラブル解消による塩ビモノマーの販売数量増
石油化学製品等の価格是正

減収要因 : 多結晶シリコンの販売数量減

(営業利益) 31億円(330%増)

増益要因 : 全社を挙げての費用削減

① 2014年3月期 第1四半期決算

1. 決算概要

連 結 (前年同期比)

(億円)

	2013年 3月期 第1四半期	2014年 3月期 第1四半期	増 減	
			金額	%
売上高	638	643	+4	+1
営業利益	7	31	+23	+330
経常損益	△11	25	+36	-
四半期純損益	△17	20	+38	-

定性情報(前年同期比)

(経常利益) 25億円(黒字転換)

増益要因 : 為替差損から為替差益へ転換

減益要因 : 休止部門費の増加

(四半期純利益) 20億円(黒字転換)

増益要因 : 前年同期に計上した株式会社エクセルシャノンの事業再構築引当金の繰入が
今期は発生しなかったことによる特別損益の改善

減益要因 : 税金費用の増加

1. 決算概要

連 結（前期末比）

（億円）

	2013年 3月末	2013年 6月末	増 減
総資産	5,182	5,219	+37
自己資本	2,175	2,193	+18
自己資本比率	42.0%	42.0%	+0.0ポイント
有利子負債	1,877	1,980	+103
D/Eレシオ	0.86	0.90	+0.04

定性情報(前期末比)

(総資産)

増加項目： マレーシアでの多結晶シリコン製造設備建設による有形固定資産の増加

減少項目： 上記建設資金への充当による有価証券及び預金の減少

(自己資本)

増加項目： 当期純利益の計上による利益剰余金の増加

(有利子負債)

増加項目： 短期借入金及び長期借入金の増加

① 2014年3月期 第1四半期決算

2. セグメント別売上高／営業利益 (前年同期比)

(億円)

	2013年3月期 第1四半期		2014年3月期 第1四半期		増減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化成品	203	1	211	3	+7	+4	+2	+187
特殊品	129	1	102	5	△26	△21	+4	+361
セメント	171	11	173	13	+1	+1	+1	+18
ライフアメニティー	117	4	125	7	+8	+7	+3	+70
その他	102	5	111	8	+8	+9	+2	+53
計	725	23	724	38	△0	△0	+14	+62
セグメント間消去・ 全社費用	△87	△16	△81	△7	+5	-	+9	-
連結決算	638	7	643	31	+4	+1	+23	+330

(注1) 各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

(注2) 2014年3月期より、機能部材セグメントは、ライフアメニティーセグメントに名称変更している

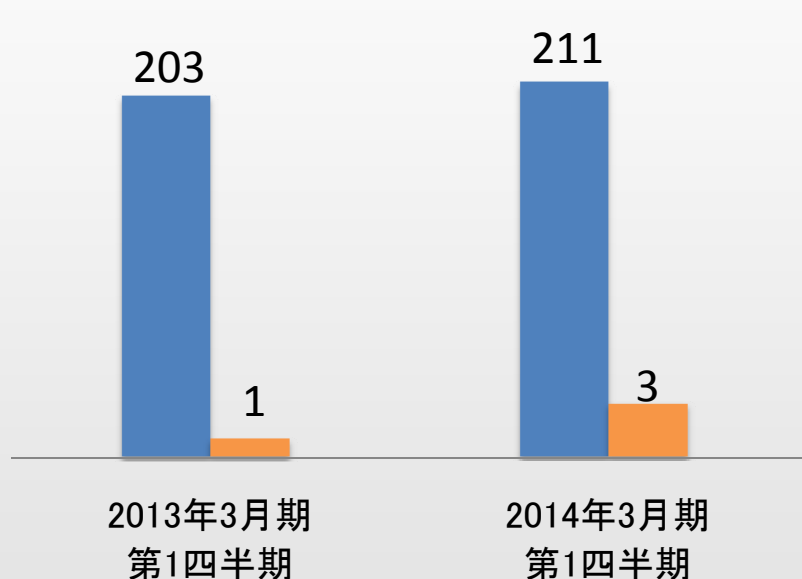
(注3) 2014年3月期第1四半期より、各セグメントへの費用負担の方法を変更している。なお、2013年3月期第1四半期においても、変更後の数値としている

2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

化成品

増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



定性情報

(塩ビモノマー)

- ・前年同期に発生した塩ビモノマープラントのトラブル解消による販売数量の回復
- ・円安による輸出価格の上昇

(苛性ソーダ)

- ・上記塩ビモノマープラントトラブル解消に伴う電解プラント稼働率改善による国内販売数量の回復

(塩ビ樹脂)

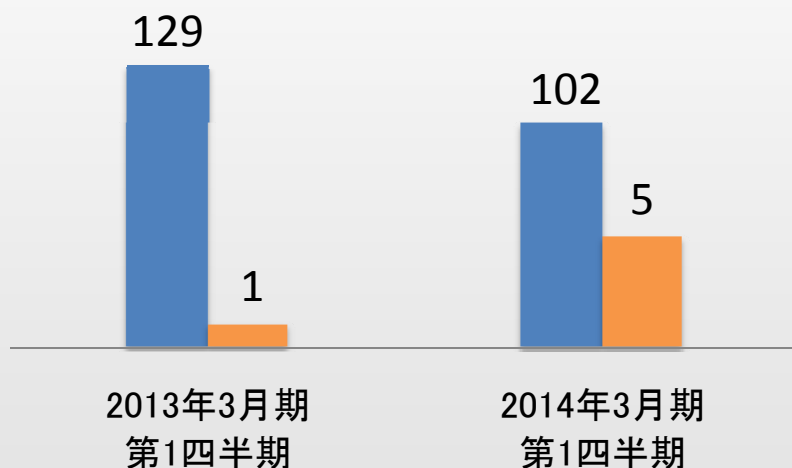
- ・販売価格の是正
- ・ナフサ価格上昇に伴う原料コストの増加

2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

特殊品

減収増益

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



定性情報

(多結晶シリコン)

- ・半導体向けは、サプライチェーンにおける在庫調整等により販売数量減
- ・太陽電池向けは、供給過剰による市況低迷が続く中、利益重視の販売戦略により販売数量減
- ・円安による輸出価格上昇

(乾式シリカ)

- ・販売価格の是正

(窒化アルミニウム、電子工業用高純度薬品)

- ・半導体、液晶市場の回復に伴い販売数量増

2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

セメント

増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)

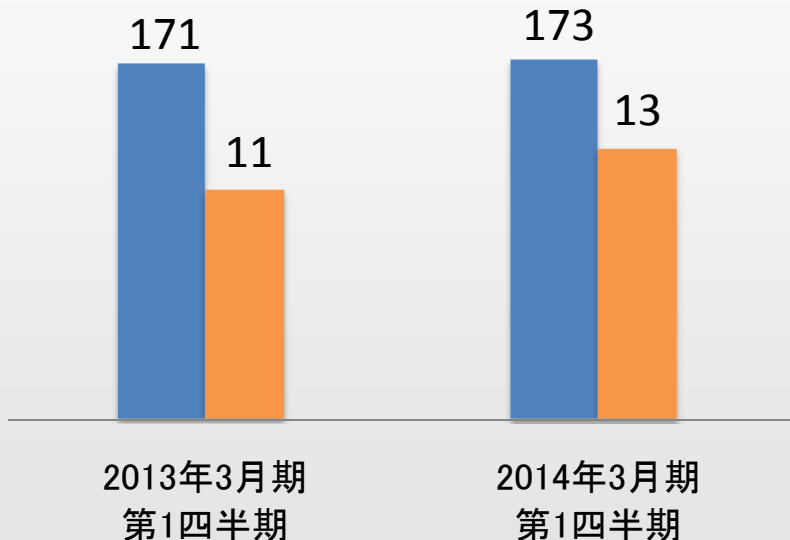
定性情報

(セメント)

・国内需要の回復に伴い、販売は堅調に推移

(資源環境事業)

・廃棄物受入量は堅調に推移

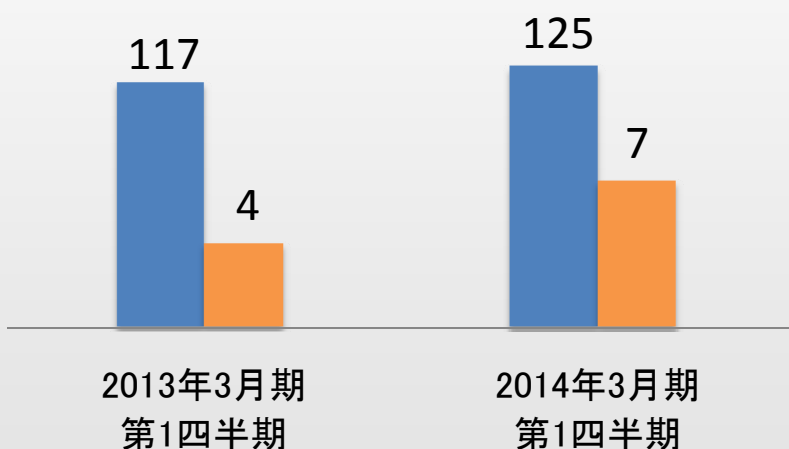


2. セグメント別売上高／営業利益 （前年同期比）

ライフアメニティー

増収増益

■ 売上高 ■ 営業利益
(億円)



定性情報

(プラスチックレンズ関連材料)

- ・2011年に発生したタイ洪水によるサプライチェーンへのダメージ解消により販売数量増

(ポリオレフィンフィルム)

- ・販売価格の是正

(歯科器材)

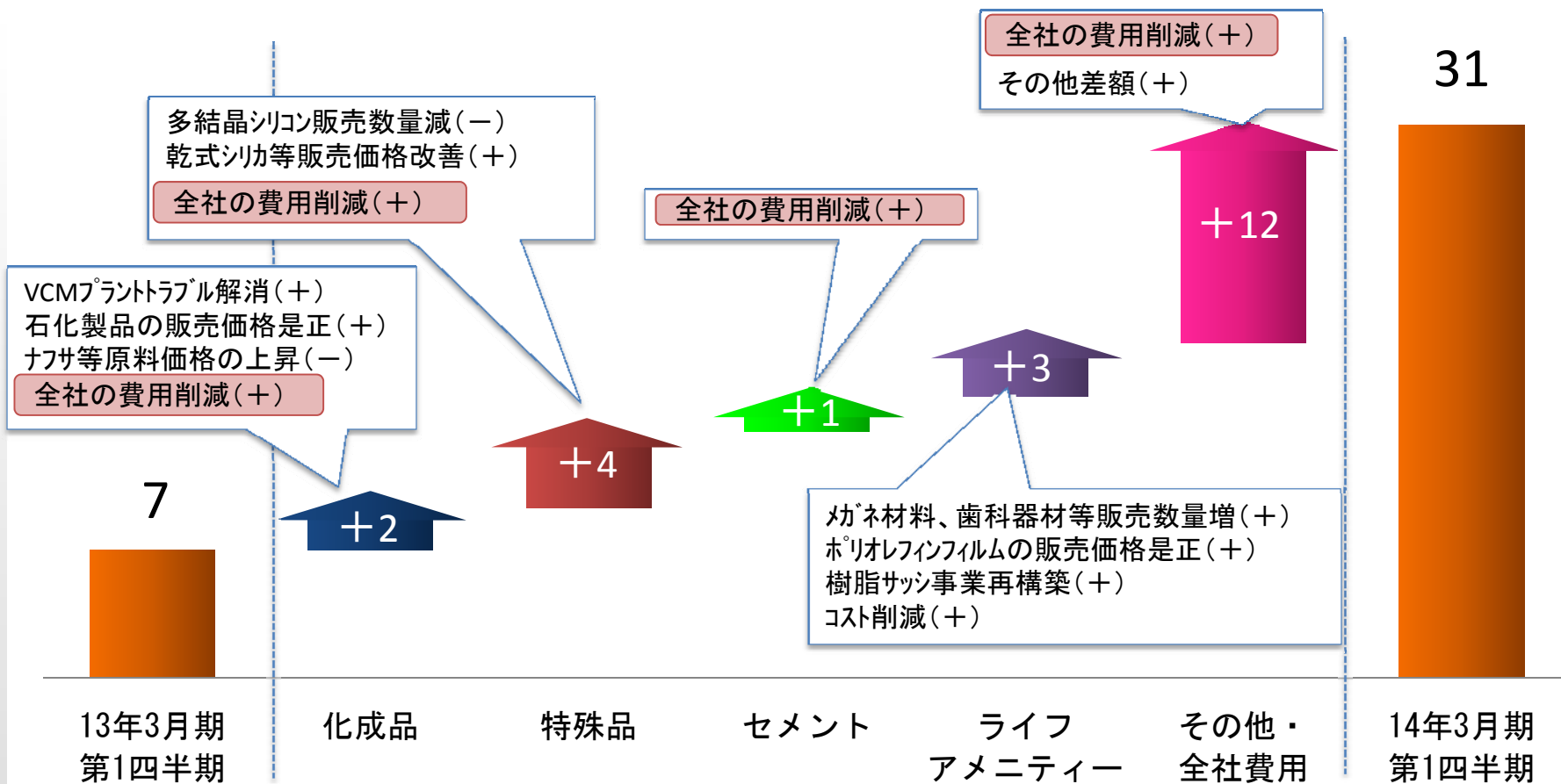
- ・新製品等の販売数量増

(樹脂サッシ)

- ・事業再構築による損益改善

3. 営業利益の増減

(前 年 同 期 比) (億 円)



(注) 億円未満切り捨て



2 2014年3月期 業績予想

1. 業績予想
2. セグメント別業績予想
3. 全社収益改善の進捗

② 2014年3月期 業績予想

1. 業績予想

連結（前期比）

4/30公表値より修正なし

（億円）

	2013年3月期 実績	2014年3月期 第1四半期実績	2014年3月期 予想(4/30公表)	増減	
				金額	%
売上高	2,586	643	2,755	+168	+7
営業利益	67	31	140	+72	+107
経常利益	32	25	100	+67	+209
当期純損益	△379	20	75	+454	-
為替(円/\$)	83	99	95		
国産ナフサ価格 (円/kg)	57,500	65,500	60,500		

② 2014年3月期 業績予想

1. 業績予想 連結(第2四半期予想の前年同期比)

4/30公表値より修正なし

(億円)

	2013年3月期 第2四半期(累計) 実績	2014年3月期 第1四半期実績	2014年3月期 第2四半期(累計) 予想(4/30公表)
売上高	1,259	643	1,320
営業利益	7	31	60
経常損益	△19	25	40
当期純損益	△25	20	25

増 減	
金額	%
+60	+5
+52	+657
+59	-
+50	-

為替(円/\$)	79	99	95
国産ナフサ価格 (円/kℓ)	55,200	65,500	60,500

② 2014年3月期 業績予想

2. セグメント別業績予想 (前期比)

(億円)

	2013年3月期 通期実績		2014年3月期				増減	
			第1四半期実績		通期予想(4/30公表)			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化成品	773	4	211	3	830	35	+56	+30
特殊品	528	3	102	5	495	25	△33	+21
セメント	699	53	173	13	725	45	+25	△8
ライフアメニティー	510	29	125	7	585	45	+74	+15
その他	401	26	111	8	475	35	+73	+8
計	2,913	116	724	38	3,110	185	+196	+68
セグメント間 消去・全社費用	△326	△49	△81	△7	△355	△45	△28	+4
連結決算	2,586	67	643	31	2,755	140	+168	+72

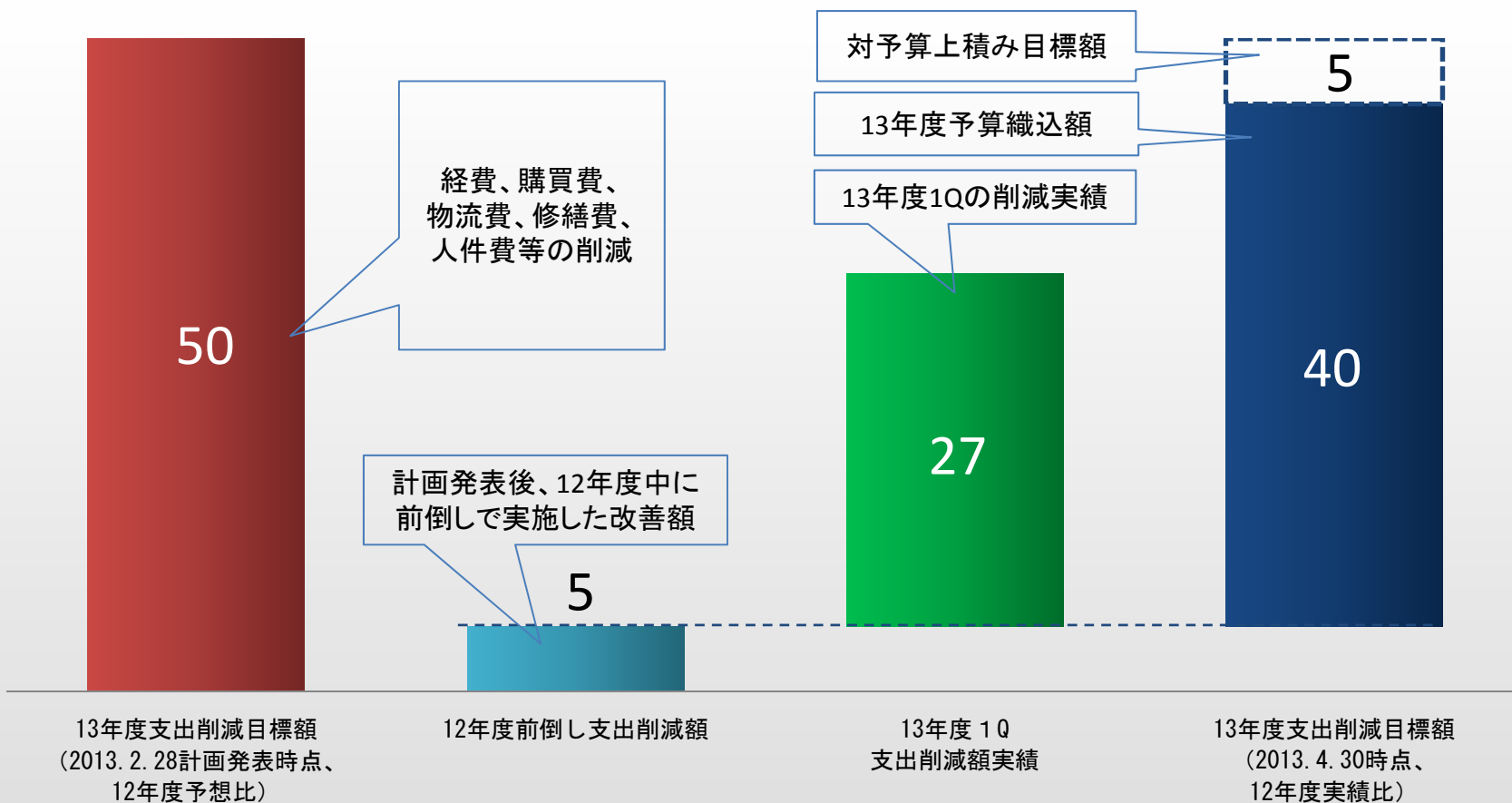
(注1) 各事業セグメントの売上高にはセグメント間売上高を含む

(注2) 2014年3月期より、機能部材セグメントは、ライフアメニティーセグメントに名称変更している

(注3) 2014年3月期より、各セグメントへの費用負担の方法を変更している。なお、2013年3月期においても、変更後の数値としている

3. 全社収益改善の進捗

12～13年度の全社支出削減額(億円)



(注1) 購買費、物流費は数量、為替による増減を除く

(注2) 13年度1Q支出削減額実績は削減対象となっている支出の前年同期比減少額

3 トピックス

1. 液化水素製造工場竣工
2. 天津徳山塑料開業式典
3. セメント海外事業



3 トピックス

1. 液化水素製造工場竣工

- 2013年6月11日、徳山製造所内に液化水素製造工場が完成し、竣工式を開催
- 液化水素は、ロケット燃料のほか、太陽電池やLEDの製造、将来的には燃料電池自動車などにも利用が期待され、今後も大幅に需要増が見込まれる
- 山口リキッドハイドロジェン株式会社は、トクヤマから水素ガスを受入れ、高純度の液化水素を製造

会社名：
山口リキッドハイドロジェン株式会社

資本金： 10,000千円
(出資／岩谷産業：65%、トクヤマ：35%)

<設備概要>
水素液化器：3,000L/h × 1系統
液化水素貯蔵能力：270KL × 2



3 トピックス

2. 天津徳山塑料開業式典

- 2013年6月17日、中国における微多孔質フィルムの製造第2拠点、天津徳山塑料の開業式典を開催
- 第1期(12,000万m²/年)は2012年末より営業運転開始
- 第2期(12,000万m²/年)は今秋の営業運転開始を目指し建設中
- 上海徳山塑料(24,000万m²/年)との2拠点体制により、中国での紙おむつ向けバックシートの需要拡大に対応する

会社名：天津徳山塑料有限公司

資本金：70百万CNY(約8.8億円)

事業内容：微多孔質フィルムの製造・販売



3 トピックス

3. セメント海外事業

ホルシムニューカレドニアS.A.の株式取得

- 2013年6月27日、発行済普通株式のうち、74.1%を取得
- 安定した輸出先を確保することにより、セメント事業の競争力維持・強化ならびに新たな収益構造の構築を図る

会社名：

Tokuyama Nouvelle Calédonie S.A.
(株式取得後に名称変更)

資本金： 210百万パシフィックフラン
(約2.1億円)

事業内容：セメントの製造・販売



4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)
2. 業績推移

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)

	2013年 3月期 第1四半期	2014年 3月期 第1四半期	増減	
			金額	%
売上高	638	643	+4	+1
売上原価	477	467	△10	△2
販管費	153	145	△8	△6
営業利益	7	31	+23	+330
営業外損益	△18	△6	+12	-
経常損益	△11	25	+36	-
特別損益	△8	△0	+8	-
税前当期純損益	△19	24	+44	-
法人税等	△1	4	+6	-
四半期純損益	△17	20	+38	-

4 補足資料

1. 連結財務諸表(要約)

貸借対照表

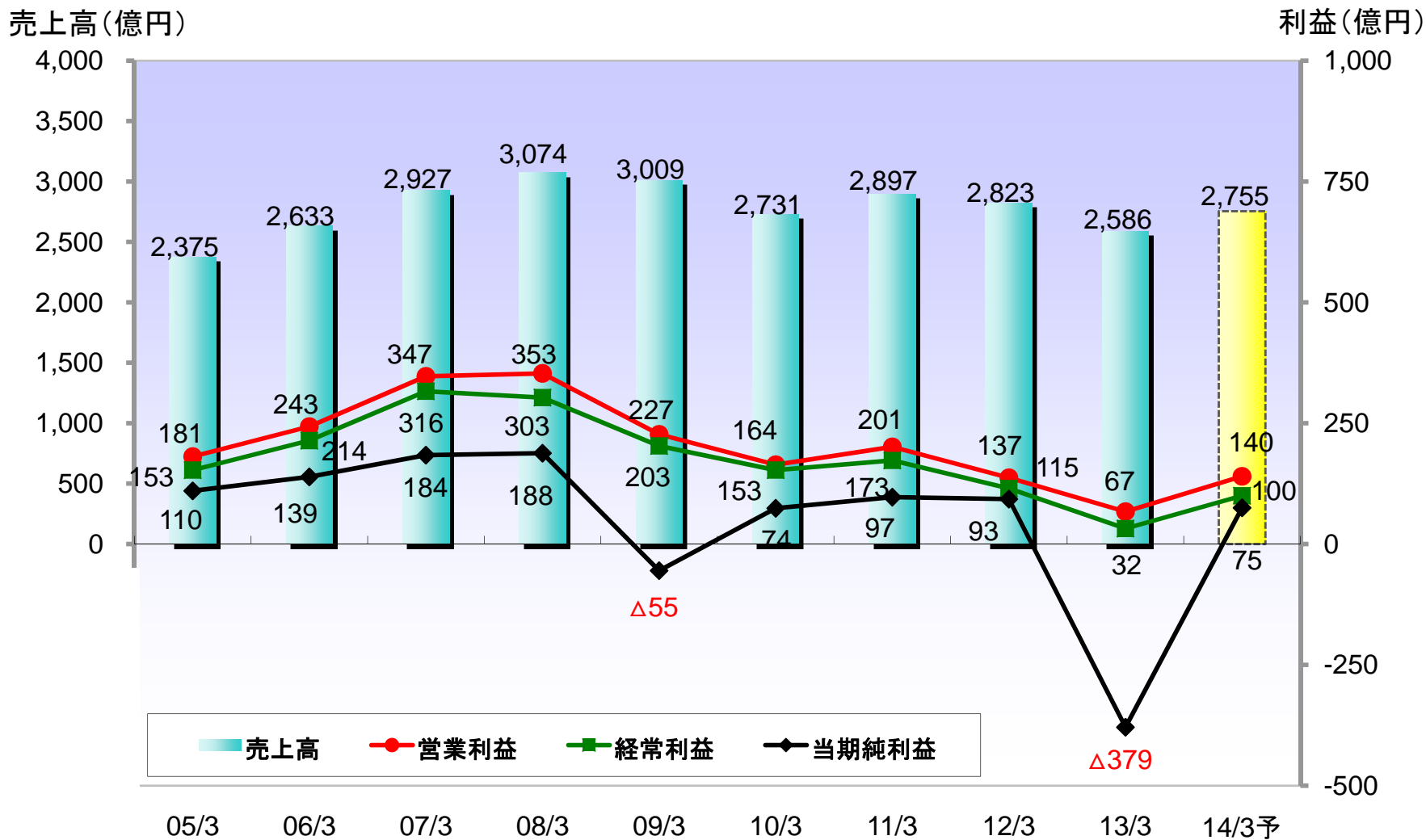
(億円)

	2013年 3月末	2013年 6月末	増減	
			金額	%
資産合計	5,182	5,219	+37	+1
流動資産	1,861	1,604	△256	△14
有形固定資産	2,743	2,997	+253	+9
無形固定資産	79	111	+32	+40
投資その他の資産	498	506	+8	+2

	2013年 3月末	2013年 6月末	増減	
			金額	%
負債合計	2,943	2,959	+15	+1
流動負債	1,156	1,140	△15	△1
固定負債	1,787	1,818	+31	+2
純資産合計	2,238	2,260	+21	+1

4 補足資料

2. 業績推移 (通 期)

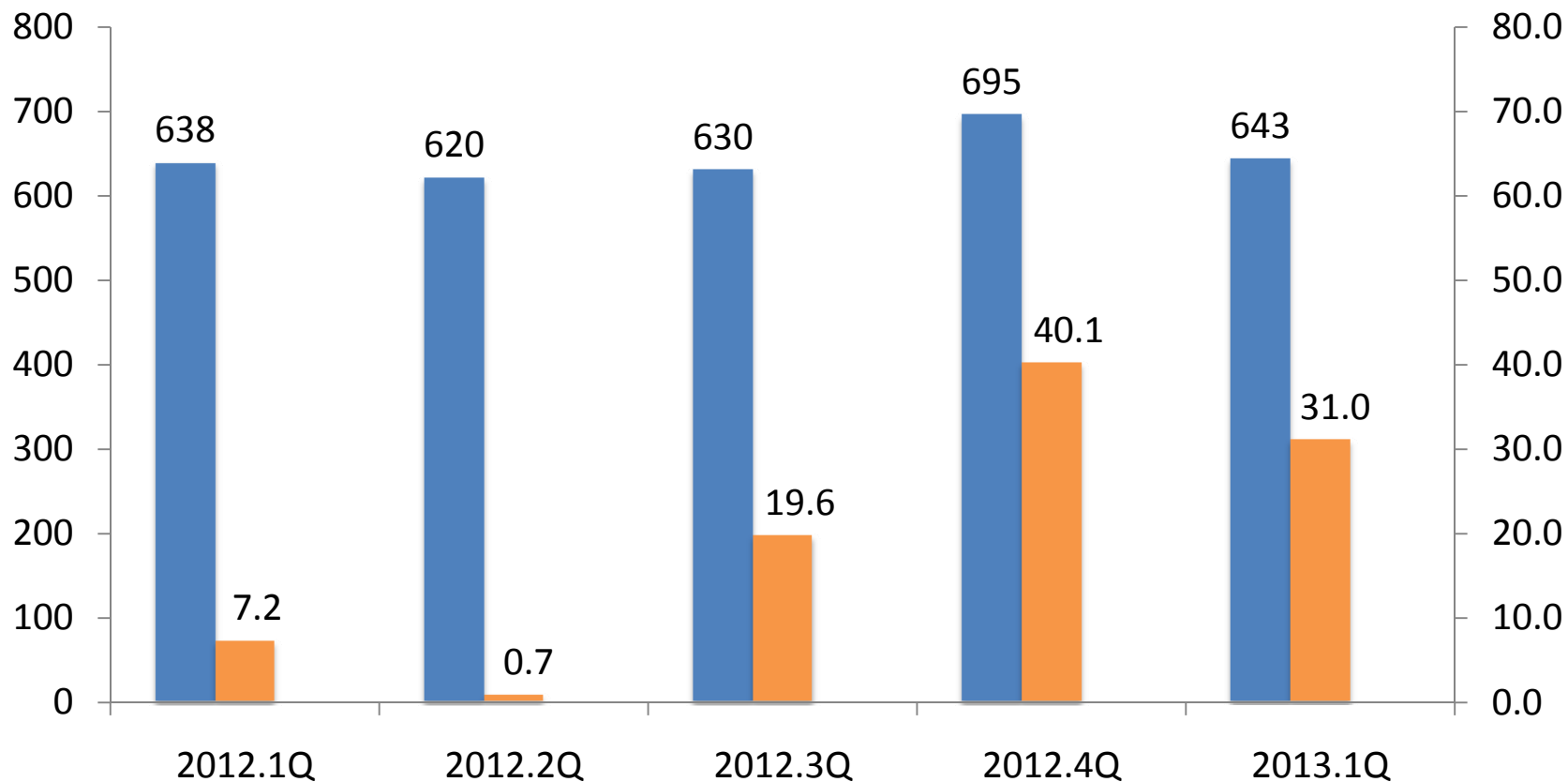


4 補足資料

2. 業績推移 (四半期)

連結

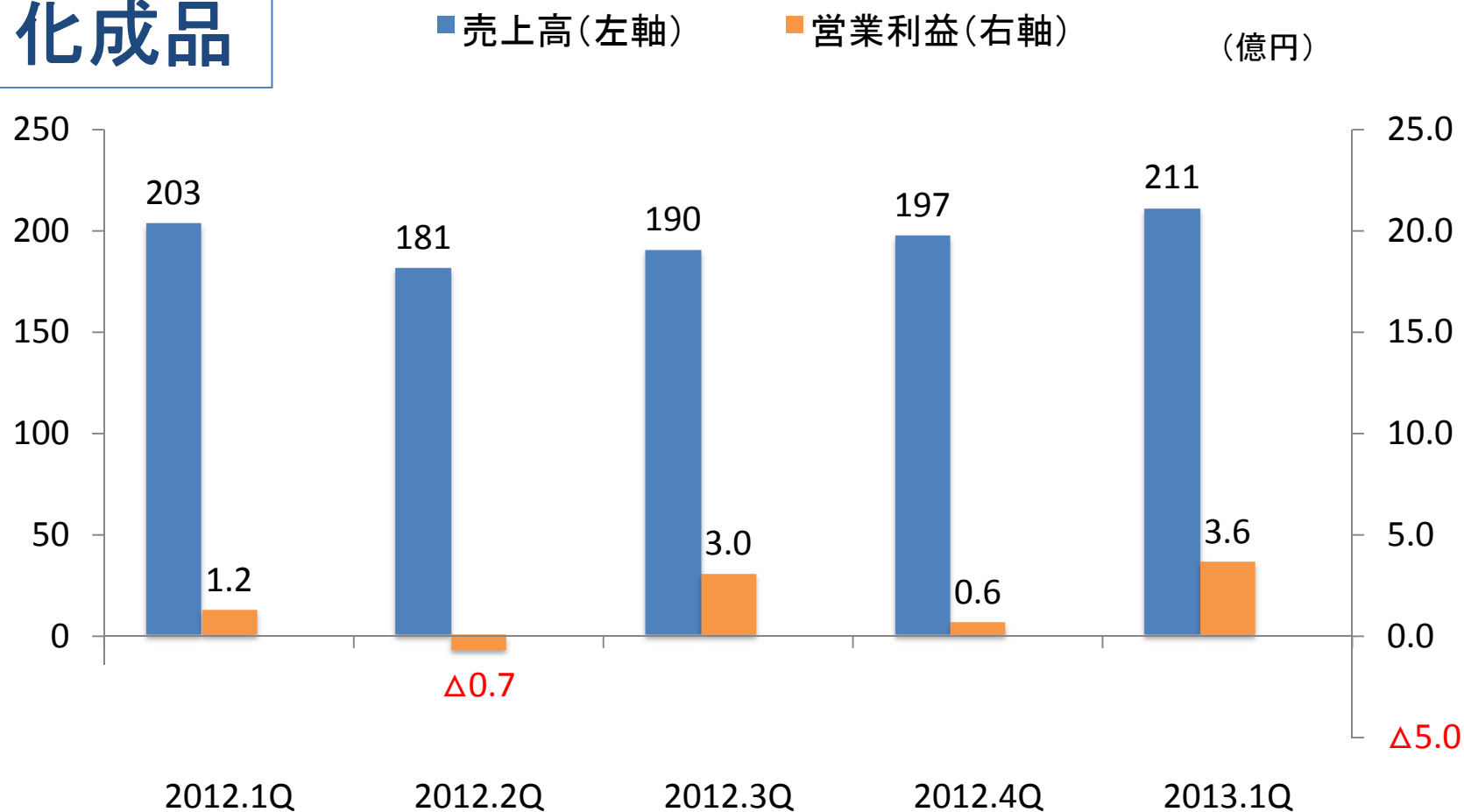
■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



4 補足資料

2. 業績推移 (四 半 期)

化成品

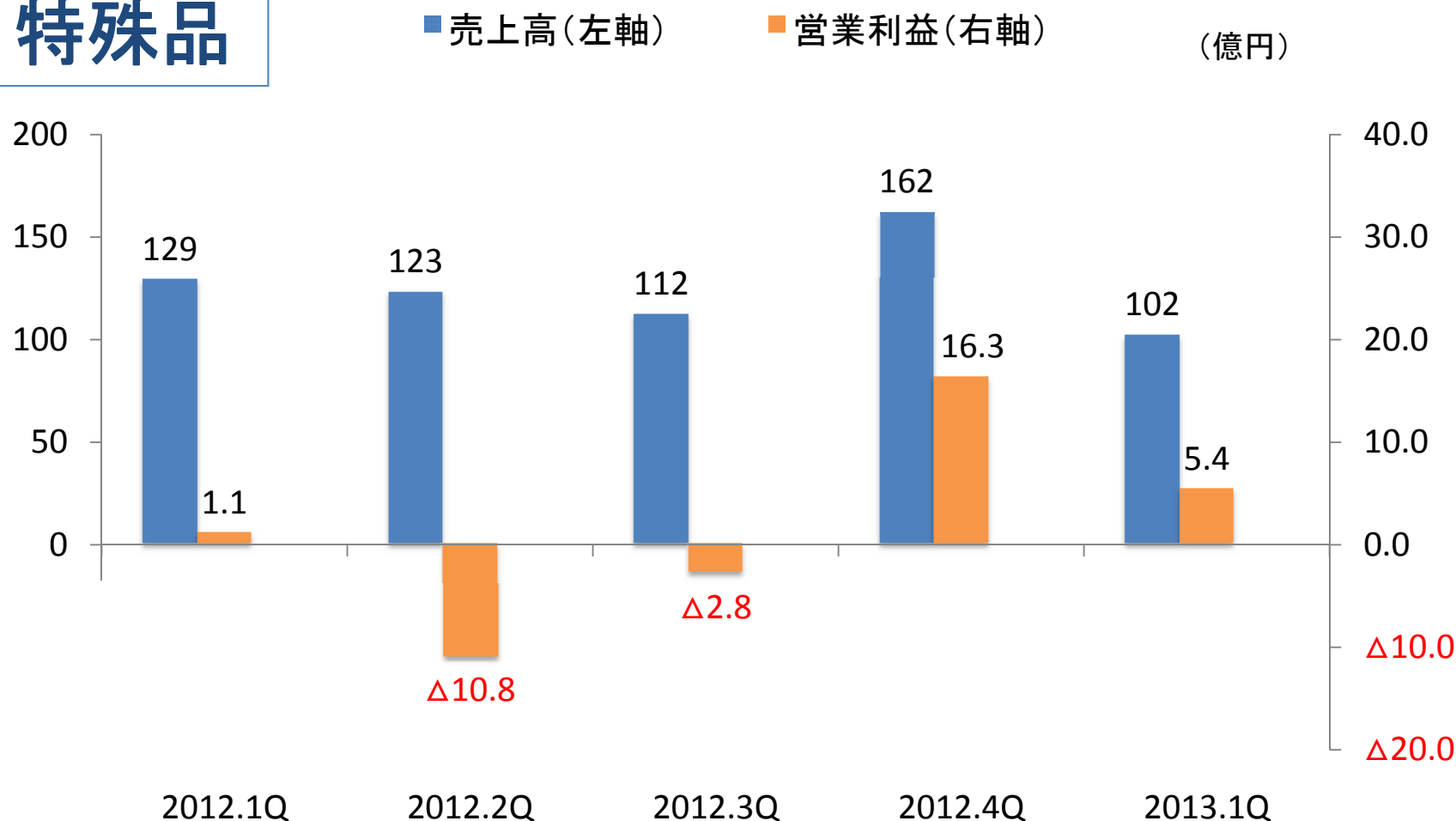


(注) 売上高にはセグメント間売上高を含む

4 補足資料

2. 業績推移 (四 半 期)

特殊品

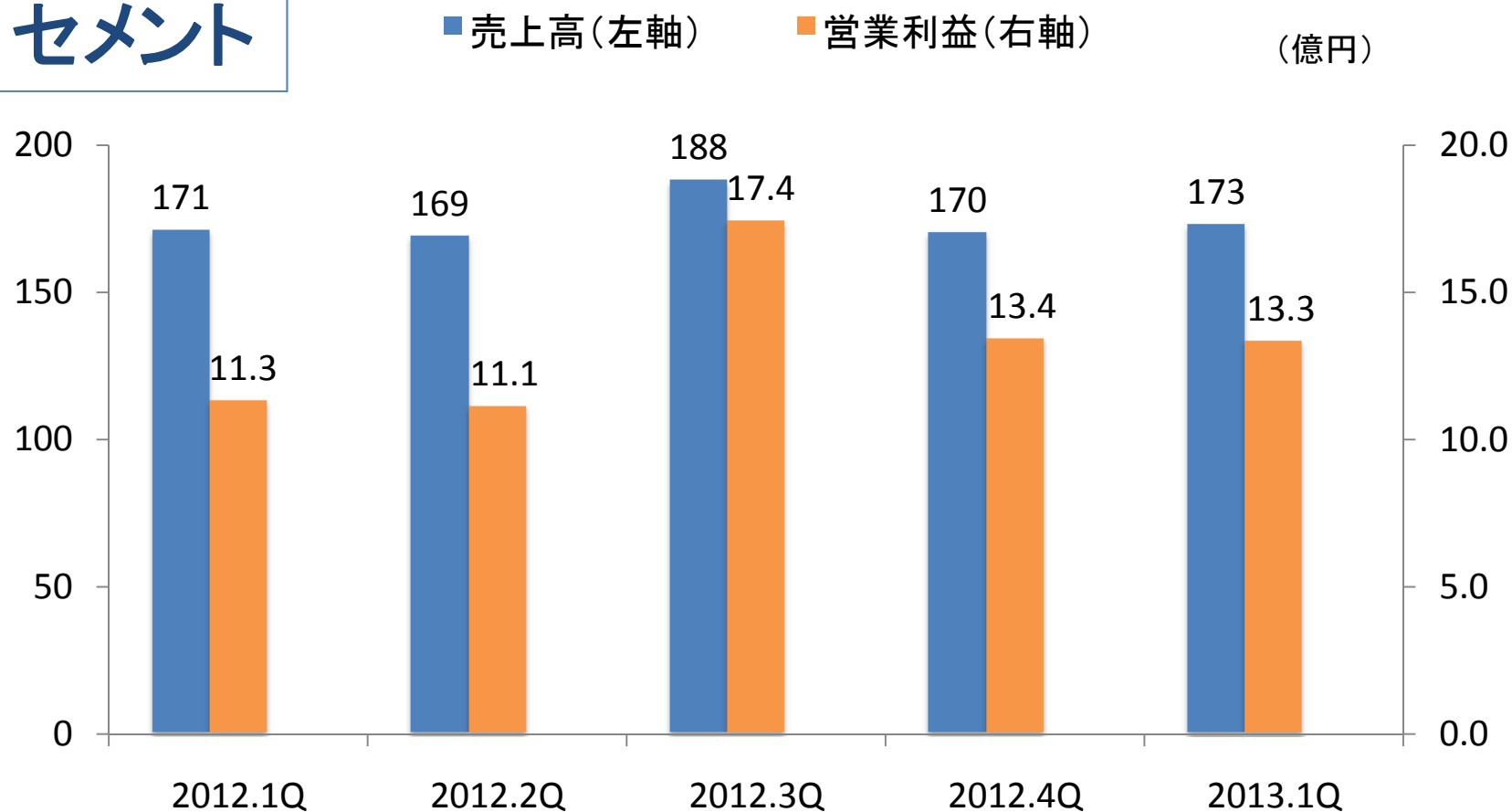


(注) 売上高にはセグメント間売上高を含む

4 補足資料

2. 業績推移 (四 半 期)

セメント



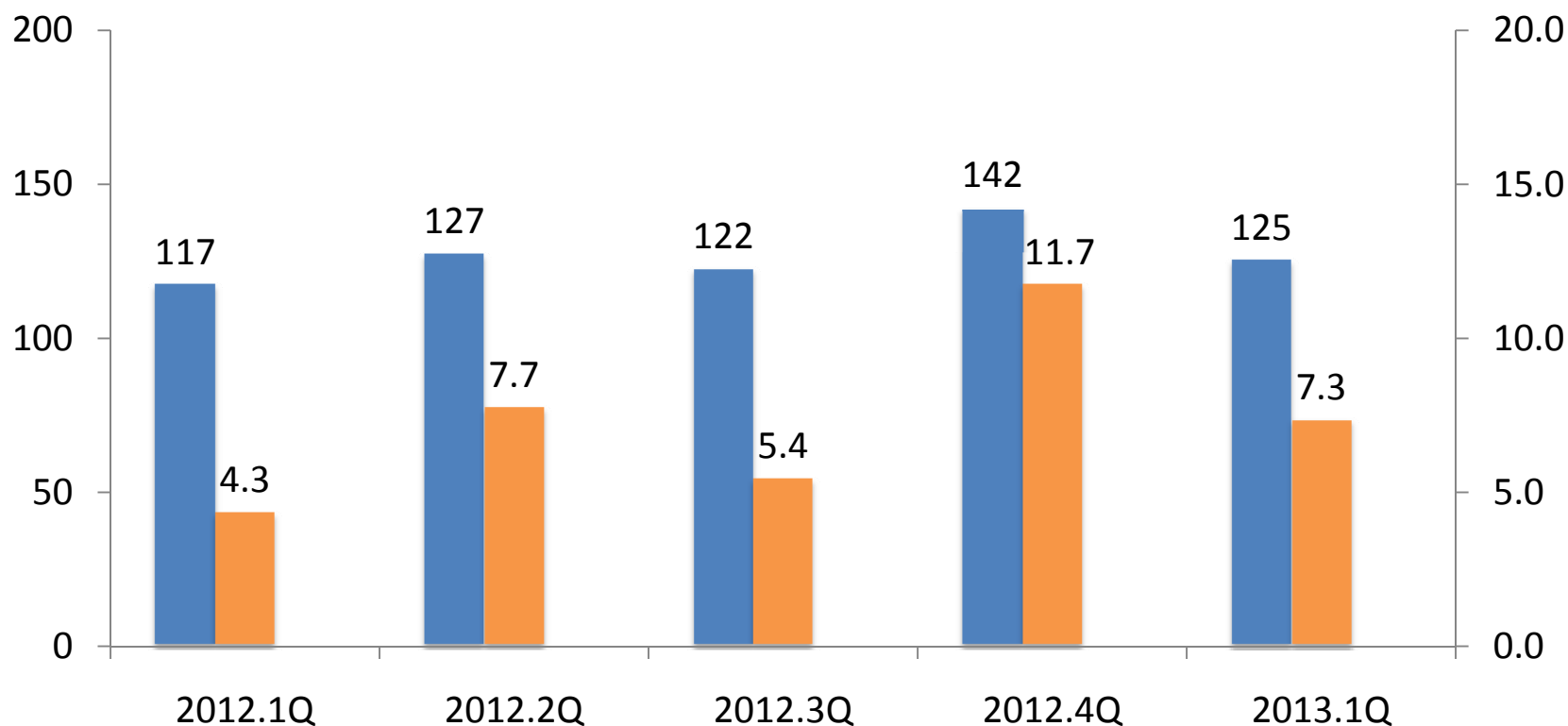
(注) 売上高にはセグメント間売上高を含む

4 補足資料

2. 業績推移 (四半期)

ライフアメニティー

■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸) (億円)



(注) 売上高にはセグメント間売上高を含む

本資料に関するご注意

本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。

本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。

Chemistry with a heart

TOKUYAMA

